
水上鞆（みなかみ れい）キャラクターデータベース

水上鞆（みなかみれい）

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

みなかみれい
水上 羚 キャラクターデータベース

【Nコード】

N0597U

【作者名】

みなかみれい
水上 羚

【あらすじ】

みなかみれい
ここは水上 羚のつくりだしたキャラクターのデータベースです。作者が忘れたくないからと、自己満足のみでつくりだされました。

基本概要

ここは水上^{みなかみれい}鈴の書いている小説にでてくる
キャラクターたちの情報集です。

基本的に新たにキャラクターが追加、登場したり、作者が思いつけば書き足されます。

ここに書かれているキャラクターがでていないのなら、それは作者が出す予定か忘れたくない故にここに書き残しているのです。

それをご了承くださいまし。
オリジナル作品のみの登場なら基本的なデータのみ記載しますが、二次創作に登場する場合は基本設定のしたに申し訳程度に記載することになります。
すべては作者が忘れたくないからのせている、ということですよ。

例

- ・キャラクターの名前
- ・基本的な設定
- ・もしあるのであれば二次創作の時の設定

のように書いていきます。

キャラクターその1（前書き）

私の一番にして、看板娘から書いていこうかと。

キャラクターその1

桜花おしづか

女、十代半ばから後半くらいの外見年齢。身長164cm、体重不明だがかなり軽いことは判明。

色白で中性的な顔つきに体つきをしているため初対面では性別を判断しづらい。

藍色大きな瞳、同色の長い髪をうなじのところでひとつにまとめて紺色のスーツを着こなす。

黒いシルクハットとマントとステッキを持って

自由奔放にどこからともなくやって来てはどこかへと消えて行く。

「まるで風のように」がよく似合う年齢不詳、過去すらも不詳の通称「風の魔女」

きまぐれで時に慈悲深く、時に子供のように無邪気でどこまでも残酷。

そのばの環境や状況、立場で振る舞いや口調に姿格好すらも自信が一番だと思ったもの自分を変えていく。

銀縁眼鏡でインテリに見せかけたり、変装が趣味で

男装して見知らぬ街を歩くことが常のためよく知る人物ですら

本性や本音を探し当てることは困難だと言わしめる。

左耳に青い薔薇のピアス。ちなみにサファイア。

桜の紋様の刻まれた銀の懐中時計をいつも持ち歩く。

モットーは「やりたいように、己のあるがままに生きる」

一人称は「ボク」、二人称は「キミ」。あくまでもこれが基本。

ときには「ワタシ」と言ったりするため、気まぐれなことを

知らないまわりがよく混乱する。

趣味は歌うことやあてのない旅をすること。だれかの為に歌うことはまれ。

ひとりで少年か少女かわかりにくい高めの声でよく歌う。
軍師などの戦略をねったり、かけひきすることに天賦の才能を発揮する。

スーツ、ドレス、男装などの衣装と銃火器などが好きで
いろいろ持ち歩いたり隠し持っている。

「テンプレ異世界を神の視点で見してみる」の主人公、
アウグストウスの嫁にして三児の母。

セリフサンプル

「ボクは桜花、ヨロシクね」

「今回は素直にひいたほうがいいよ。思った以上に根は深い」

「ボクはボクと大事な人に火の粉がかからなければ動かない主義なんだ」

作者の独り言

未だに数年の付き合いなのに腹の底が見えないナンバーワン。
だがそこがいい。

その2

アウグストウス 男 18くらい

一人称「俺」か「ボク」。改まれば敬語。二人称「あなた」など。

黒目黒色でボサボサでフワフワしたくせのあるショートヘアを無造作にそのままにしている。

顔だけ見ると女に間違われるくらいの女顔。おもしろいくらい典型的な日本人の顔をしている。

イケメンでもなく、かといってブサイクでもない平凡な顔とかであり人に覚えてもらえない。

176cmでちょっと高いところが届くのがささやかな自慢。

オタクでかなりいろいろ詳しい。ちなみに一番好きなのは「なく頃に」シリーズ。

アウグストウスの名前はペンネームを考えるときに適当にこれでもいいやと思う、

今でもそのまま通りなとして名乗っている。

どうでもいいが本名は吉崎結理^{よしざきむすみ}。

女っぽくて恥ずかしいと思う思春期真っ盛り。

黒い学ランが私服のようなもので、ほかには数えるほどのシンプルな服しか持ちあわせてはいない。

心優しく、慈悲深い。見返りを求めずにただ誰かに尽くして幸せになってもらうことが生きがい。

その反面、日和見主義な部分もありかなり慎重な性格。

作者メモ

守りたいもののためだけに戦う聖者をイメージして。

その3

真夜^{マヤ}

153cm、かなり軽い。

どこかにあり、どこにもない館の主。赤いリボンをカチューシャのようにつけて、

装飾の類の一切ない黒いワンピースに白いハイソックスに小さな赤い靴。

首には頭のリボンと同じ材質の赤いリボンをチョーカーのようにつけている。

赤い車椅子に座り、生気のない黒い瞳で物事を見つめて淡々と生きている。

口数も少なく、必要最低限の言葉のみで考えていることは不明。

髪の毛を腰くらいまでのばしてまっすぐに切りそろえている様から

「日本人形が喪服を着たようだ」とも仲間からは言われる。

館の創造の対価として両足をさしだした。が、本人はそのことを「正当な犠牲」ととらえている。

現在は増築した館の部屋を様々な人外に間借りさせて家賃を維持費

にしてくらしている。

ライフワークが部屋にこもり、小説執筆。現在はただのニートである。

一人称は私、二人称はあなた。

その4

耀、男

年齢はおそらく十二歳から十四歳程度。本人がおぼえていないため推定。

ふわふわした淡い金色の髪を鎖骨のあたりまで無造作に伸ばしている。

最近切ろうか伸ばして束ねようか迷っている。

光の当たりかたや角度によっては青や黒、

瑠璃色などに見える紺色のまるっこいおおきな瞳。

子どもらしい無邪気な笑や大人っぽいひだまりのようにあたたかいほほえみをみせることもある。

服装なシンプルで飾り気のないおとなしいものが好みで、

白いカッターシャツに砂浜の砂の色のズボンや

長く幅の広いストールと大きなフード付きマントで日よけをしている。

形見の、一つ分が親指の爪二つ分くらいの珠の連なった108個の紺色の数珠を

自身の命よりも大事にされていて、ストールで隠している。

どんなに信頼している仲間で触ることは許さないほど。

性格は礼儀正しく、紳士的で優しいがまだまだ大人に甘えたいさかり。

大事だと思ったひとには自分の命をかけてまで尽くすが、

不要と判断すれば非情にもなる。一度たが箍が緩むと半狂乱で殺戮をくりひろげたり、

破壊の限りをつくすがめつたにない。

誰かに甘えることが下手でどう接すればいいのかわからずひとりで抱え込む事が多い。

過去に名づけ親と養親との間に悲しい事件が起きた。が、その事は墓まで持っていくと誓った。

好きなもの、干しあんず。嫌いな物、タバコなど。

基本はいい子

二次創作設定

ネタバレがほとんどのため、後ほど記載。

その5

牧村樹まきむらいつき 男 二十代半ばほど

まっすぐなショートヘアのややつり目な色白な痩身の麗人。

気分で縁のない伊達メガネをかけたたりかけなかったりする完全無欠の主夫であり、

万能執事ポジション。

さりげない気遣いで人心をさも当然のように掌握する。

特技は家事全般、趣味は己の美学どおりに遂行する大量虐殺。

人を殺すことが好きでたまらないある意味で存在してはならない人物。

いつも持ち運びのしやすい小型ナイフで人の体を丁寧に分解するところがおきにいり。

一人称は「ワタクシ」 二人称は「アナタ」

敬語や謙譲語や尊敬語の一見穏やかな語り方と甘い低い声の持ち主。

髪の毛や眼の色は作品によってことなるが、基本は黒。

その6

川村アリサ 本名 有川さつき（アリカワサツキ） 16 女 1
55cmほど x x kg（血痕でくわしくは見えない）かなり細く、
身軽。

顔立ちには綺麗なほうだが平凡で普通と言われるくらい。

感情をだすことはまれで、口数も極端に少ない。どこか感情表現を
避けているふしがあり、

苦手とする。むねくらいまでのまっすぐな黒髪、

濃い色のサングラスで瞳を隠していて、同タイプのものを大量所持

いつもは白いラインが三本はあった紺色の冬のセーラー服。

紺色のカバンをひもを調節しリュックタイプや肩掛けタイプにする。

夏服バージョンはカラーリングが逆。

夏冬問わず紺色のスカーフをリボンのように結ぶ。

刃以外が漆黒の剣をどこからともなくだしたりする。

その他、仕込み武器、銃器系統を隠し持つ。いつも不機嫌そうな顔
をしている。

本当はそうじゃなかったりするがくせでやってしまう。

紫外線に弱い体質に生まれたため余程のことがない限り普段は夜行性の生活をおくっている。

瞳の色はルビーのような真紅。髪の色は実は染めて黒にしている。

闇の魔女にして、鬼の血を引くとされる一族の巫女兼当主だった。

陽の光に弱い色素の薄い人間が生まれやすい因子を持った一族で、

色素の薄さから人々に恐れられていて、

近親婚を繰り返すしかなかったので色素の薄い人間ばかりになった。

その7

サーシャルベル

見た目が10歳〜12歳くらい 女 130センチくらい。

ニックネームはサーシャ。

まっすぐな黒髪を腰くらいまで伸ばし、毛先をぱつっんにしている。

長袖の膝下10センチの黒いワンピース。

の右のはしっこにレースでつくったピンクの薔薇二枚の葉つきの造花に

リボンがくつついたものをつけている。

青い薔薇の刺繍の白いストールをいつも肩にかけているか手に持っている。

左目の横の位置にある髪の毛の一房をリボンで結び、

布製の二枚の葉。ピンクの薔薇の布の造花をつけている。

基本的には傍観者だが、心優しく何時も弱い立場の人物に力を貸す。

怒ると口が悪くなる。一人称わたくし。ごくまれに私。二人称あなた。

他人には基本的にはさん付け。

桜花のピアスと同じ形のピンクダイヤモンドの薔薇のイヤリングを
右耳につけている。

藤の紋様の刻まれた銀の懐中時計を所持。

作者メモ 登場キャラ中の唯一のまともな常識人で苦勞人になって
しまった。

魔女でこう見えても千年単位で生きている。

いつ使うかは不明のデータたちその1 (前書き)

個性豊かなやつらです

いつ使うかは不明のデータたちその1

さかえかざみ
栄風見性別不明 年齢不明（おそらく二十代）

性格 楽しければ何事もよしとする快樂主義的な思考の持ち主。

マッドサイエンティストで主に遺伝子実験や生物実験を得意とする。ゆるんではいけない領域の頭のネジがゆるんで吹き飛んだ。倫理？人権？なにそれおいしいの？が通常営業でやっかい。

知識の追求のためにはなんでもやってしまう危険人物。

好きな事にはとことんのめりこむが、興味がないことだとまっまたく手をつけない主義。

いわゆるめんどくさがりである。妙なところで知恵が回るいやな性格に定評アリ。

服装は赤いジャージに白衣。気分でダテの瓶底メガネをかけたたり、雑音が耳に入らないように黒い大きなヘッドホンをつける。

口調はいつもぐだぐだでコロコロ変わるからあてにならないこと
有名。

主な一人称「ボク、ワタシ」、二人称「キミ、あなた」

メモ 当初予定していたイケメンの面影はどこにもない。

もう人間じゃなくてもいいや。どこまでおもしろいようにできるか挑戦したい。

いつ使うかは不明のデータその2 (前書き)

どうしてこうなったかな？

いつ使うかは不明のデータその2

烏丸悠（からすま「ゆう」か「はるか」のどっちかで迷う）性別未定。性格 ガラスの超絶チキンハートで人見知りが激しく、ネガティブ。とにかく人間が怖すぎて人気のないところに棲息する習性がある。誰かと話す時はテンパリすぎて大人しくなる。誰かと不意に遭遇すると涙目に。目立つことのないようにと黒い飾り気のない機能性の高いジャージとブーツ。おしゃれをしたことがない。帽子で天パを隠しているつもりだがいまいち隠しきれていない。

口癖 「もうヤダ」

「おうち帰る」

「鬱だ明日死のう」（人ごみに酔った後、テンション駄々下がりするときのつぶやき）

「人生オワタ」

「死にたい」

いつ使うかは不明のデータその2 (後書き)

どうにでもなれ

いつ使うかは不明のデータその3 (前書き)

わけがわからないや

いつ使うかは不明のデータその3

立花恵（たちばな女装時は「めぐみ」、本名「けい」）性別 男の娘。性格 利己主義な敬語を使う冷酷なドエス紳士もどきのヤンデレ。どうすれば効率よく合理的に人を解体できるか研究中。おへそぐらいまであるロングヘアーが自慢。服装 ふんわりした薄いオレンジ色のカーディガンにレモン色のブラウスに白地に赤い野ばら模様のロングスカート。（嫌いなパステルカラーなのでめったに着ない）いつもは黒いカーディガンに黒いワンピースに黒いタイツとスニーカー。それに加え黒い帽子がお気に入りの格好。暑いと黒い日傘をさす。

口調 「〜ですう〜」

「〜ますう〜」などのゆつくりした話し方でコイツ早口言葉できねえだろとか思われても仕方ないしゃべり方。マジギレ状態だと男前になるので無問題。男の時の服装 長い髪を一つにまとめ、黒いズボンとパーカーか白いブラウス。女装時とは違ってかわって冷たい印象を与える。それが黒いジャージ。男の時の口調はやや早口な敬語。

一人称「ワタシ」二人称「アナタ」

いつ使うかは不明のデータその4

烏丸賢二からすまけんじ 36歳、男。一人称「オレ」（改まった場面では私）、二人称「アンタ」（改まった場面ではアナタ）渋いイケメンで燻し銀を連想させる。黒いコートにズボン、ブーツ、帽子。手入れを怠りがちな黒髪はボサボサのショートヘアに成り果てた。コートの下は「娘ラブ！（表）、娘のためなら死ねる（裏）」とプリントされたTシャツを着ているただの親バカ。最愛の妻との忘れ形見の娘を溺愛する。最近は無精髭を理由に娘に頬擦りを拒否されて絶望のどん底に落とされた。数年前にタバコ臭いと言われたてへこんだ事をきっかけに禁煙中。大学生のできちゃった結婚をしたことが目下の秘密。職業はこれでも警察官。警察官であると必死で説明するも、見た目から危ない仕事関係の人だと周りの人に勘違いされている。意外とヘタレ。

いつ使うかは不明のデータその5 (前書き)

ニックネームはマキ、マキさん、マッキーなど。ただのダメ人間。

いつ使うかは不明のデータその5

牧村樹 まきむらいつき 男 二十代前半 いつでもフェミニストな紳士。言葉遣いは丁寧で優しい。まっすぐなショートヘアにふちなないメガネをかけたがり、かけなかつたり。切れ長の瞳は獲物を狙う獣の様に輝いている。髪と目の色は作品によっては黒だったり深緑だったりまちまち。服装はスーツや黒の礼服や喪服。性格は紳士な執事の皮を被った快樂殺人を繰り返す切り裂きジャック。非の打ち所のない完璧執事と第一級危険物の合成物。

いつ使うかは不明のデータその5（後書き）

作者の友人と作者はマッキーと呼ぶ。

いつ使うかは不明のデータその6(前書き)

一番書きやすいキャラクターですね。

いつ使うかは不明のデータその6

烏吠扶桑親父くさい人（男だろうか女だろうか）。二十歳。あだ名は「ふーちゃん、フウ」好き放題にはねてくるくるのふわふわの肩につくくらしいの黒髪ショートヘア。黒ぶちメガネの奥には剣呑な光を持つ淡い琥珀色の目。なぜか袈裟無し、墨染めの黒い法衣を身に纏う。（なくしたらしい）思わせ振りの話し方でまるですべてを知っているのではないかと錯覚させられる。おちゃらけキャラ、冷酷策士、寡黙な傍観者、優しい庇護者など何役も同時にこなすことも。わけのわからない性格から自分自身も他人も己の事を真に理解できない。一人称はワタシ、二人称はキミ。（アタシ、ボクなどにコロコロ変わることも）すごくひねくれている。預言者で未来が見えることがある。ヤンデレ予備軍。裏がありすぎて怖い。趣味でハーマニカをふくことも。子供が大好き。どこからともなく行き場のない子供をひろってくる謎の習性がある。だから住職をしている寺が半分くらい孤児院状態。そして補佐をしてきている尼さんに怒られる。でもひろってくる。一生言い様のない寂しさを抱え込んだまま生きていく。

いつ使うかは不明のデータその6（後書き）

道化役にはうってつけだと思う。

いつ使うかは不明のデータっぽいのかな？

雪野笑女 ゆきのエミ たぶん十代半ばくらい。よく笑うようにとエミと名付けられたが、無愛想、無口、無表情の三拍子揃った典型的な笑わない子ども。何を考えているのかわからないから周りからは敬遠される。黒が大好きで身の回りのものを黒で統一したが。いわゆる不思議ちゃん。性格を掴みにくい。人嫌い、人混みに酔うなどの理由から人気のない場所にいる。考え方が哲学的で表現方法が奇々怪々かつ、合理主義。最近は図書館が好きで本をよく借りる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0597u/>

水上鈴（みなかみ れい）キャラクターデータベース

2011年12月7日06時48分発行